

# 特別支援学級生活単元学習指導案

時間・場所 公開授業② ひまわり1組教室

学 級 ひまわり1・2組5名（男子2名，女子3名）

指 導 者

## 1 単元名 盛岡きらりツアー

## 2 単元について

ひまわり1・2組には、5名が在籍している。学年や発達、障がいの様子が異なるために学級ごとに個別の課題で学習している。朝や帰りの会、給食などの日常生活指導、生活単元学習においては合同で学習を進めている。明るく素直で、互いに協力し合おうとする姿勢が見られる子どもたちである。しかし、人と上手に関わることや思いをうまく伝えることを苦手とする児童もおり、家庭や専門機関と連携しながら個に応じた指導や支援を行っている。

本単元は、公共交通機関である電車とバスを利用し、もりおか歴史文化館を見学に行くという活動を行う。ルール、マナーを身に付けることや券売機、整理券発行機などを利用して実際に乗車すること、また、見学を通して人との関わりをもつことも目的としている。公共交通機関を利用する体験や、身近な地域に出て見聞を深めることは、将来の社会生活につながる重要な活動である。

指導に当たっては、まず見学に出かけることを知らせ、学習の見通しをもたせる。自分たちでツアー名を考えさせることで意欲をもたせたい。次に、公共交通機関の利用の仕方について学習する。画像等を活用し、見学先の具体的なイメージをもつことが出来るようにする。さらに、見学先や交通機関のマナーについても学習し、実際の活動に安心して取り組むことが出来るようにする。単元の終わりでは、十分準備をして見学できたことを価値付け、達成感をもたせたい。

## 3 単元の目標

- ・ 公共施設の見学に行くことに興味をもち、地域の人や働く人たちと関わりを持ちながら、協力し合って取り組もうとする。
- ・ 公共施設や公共交通機関を利用する際のマナーや、交通ルールを守って安全に気を付けて行動する大切さを理解し、実践することができる。

## 4 単元計画（総時数8時間）

小単元	時間	主な学習内容
計画をたてよう	1	きらりツアーの計画を知り、学習の見通しをもつ。
マナーを知ろう	1	公共施設利用、道路歩行等のマナーやルールを知る。
バスや電車の乗り方を知ろう	1	<b>電車やバスの利用の仕方を知る。【本時】</b>
きらりツアーに出かけよう	4	きらりツアーに出かける。
振り返りをしよう	1	きらりツアーを振り返る。

## 5 本時の指導 (3/8)

### (1) 目標

電車やバス利用の仕方や、マナーを知ることができる。

### (2) 「振り返り」の工夫

- ・板書をもとに学習過程を振り返り、実際に協力して活動できたことを価値付ける。
- ・「分かったこと」「思ったこと」という視点を示し、発表させることで本時の学びを自覚させる。

### (3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点と評価の工夫
導入 5分	1 課題を把握する。 電車やバスの乗り方を知ろう。	・前時の学習を想起させ、見学先へ行くために使う乗り物の利用場面の学習であることを確認する。
展開 30分	3 電車の乗り方を知る。 仙北町駅に行く→料金表を見る→券売機切符を買う→改札を通る→乗車する→下車する→改札を通る 4 バスの乗り方を知る。 バス停に行く→時刻表を確認する→バスに乗る→座席に座る→ボタンを押す→料金を払う→お礼を言う→下車する	・写真を用いながら乗車から下車までの手順を示す。 ・券売機や改札機等の写真を提示し、使い方を説明する。 ・教師の演示後、児童にも実際にやらせてみる。 ・上学年は下学年を助けることができるように促す。 ・電車利用のマナーについて、動画を活用して考えさせる。 ・電車同様に手順を示し、活動させる。 ・電車との共通点や相違点に気付かせる。 電車やバス利用の仕方や利用時のマナーが分かる。【発言・行動観察】
終末 10分	5 学習のまとめをする。 6 振り返りをする。 ・きちんとできました。(第Ⅰ型) ・乗り方やマナーを覚えて、できたのでよかったです。(第Ⅱ型) ・低学年の世話もすることができたし、いろいろな機械があることも覚えました。ツアー本番が楽しみです。(第Ⅲ型)	・板書をもとに学習過程を振り返り、協力して活動できたことを価値付ける。 ・「分かったこと」「思ったこと」という視点を示し、発表させることで本時の学びを自覚させる。
	7 次時の内容を知る。	・次時は、学習したことを生かしてツアーに出かけることを知らせる。